

理化学研究所寄附金 年次報告 2022年度

超伝導リングサイクロトロン
Superconducting Ring Cyclotron



SM3



理化学研究所

理研は、1917年の発足時から百年余り、誰もが自由に遠慮なく討論し合える理想的な研究環境を「理研精神」として受け継ぎ、「世界のRIKEN」として多くの研究を積み重ねて参りました。

現在、そして未来においても、理研は、科学者自身が究めたいと願う研究が、人類の未来のために必要となる学知の創造と重なり、科学と社会との相互の信頼が深まることで、互いにつながっていく場であることを目指しています。

理研寄附金は、理研と社会の皆様とを直接繋ぐ大切な「絆」となっています。私たちは、少しでも多くの方々に理研を知っていただき、「理研ファン」となっていただきたい思いから、支援者の輪を広げるための活動を行っています。

2022年度は、新たな試みとしてクラウドファンディングを開始いたしました。おかげさまでたくさんのご支援者の皆様から、多くのご支援をいただくことが出来ました。心より深く感謝申し上げます。

みなさまから賜りました寄附金は、みなさまと理研を繋ぐ大切な「絆」として、無から有を生み出す知の創造のために、そして地球と人類の未来の成長をもたらす光となる活動のために、大切に使用させていただいております。

今後とも理研の活動にご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



1



長岡 半太郎



本多 光太郎

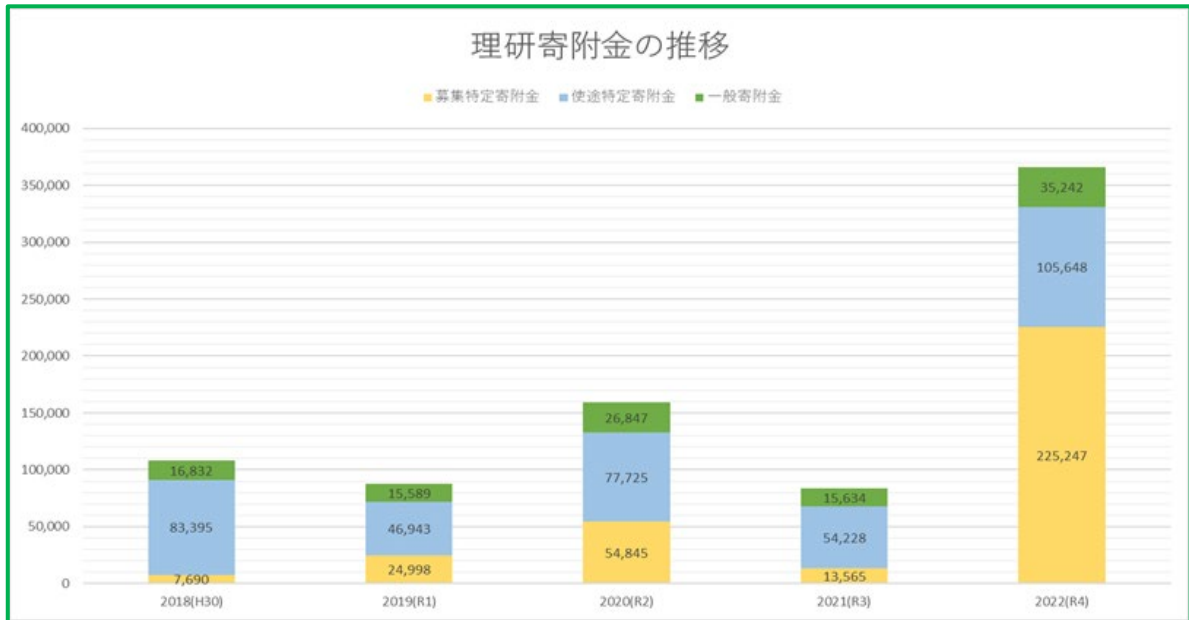
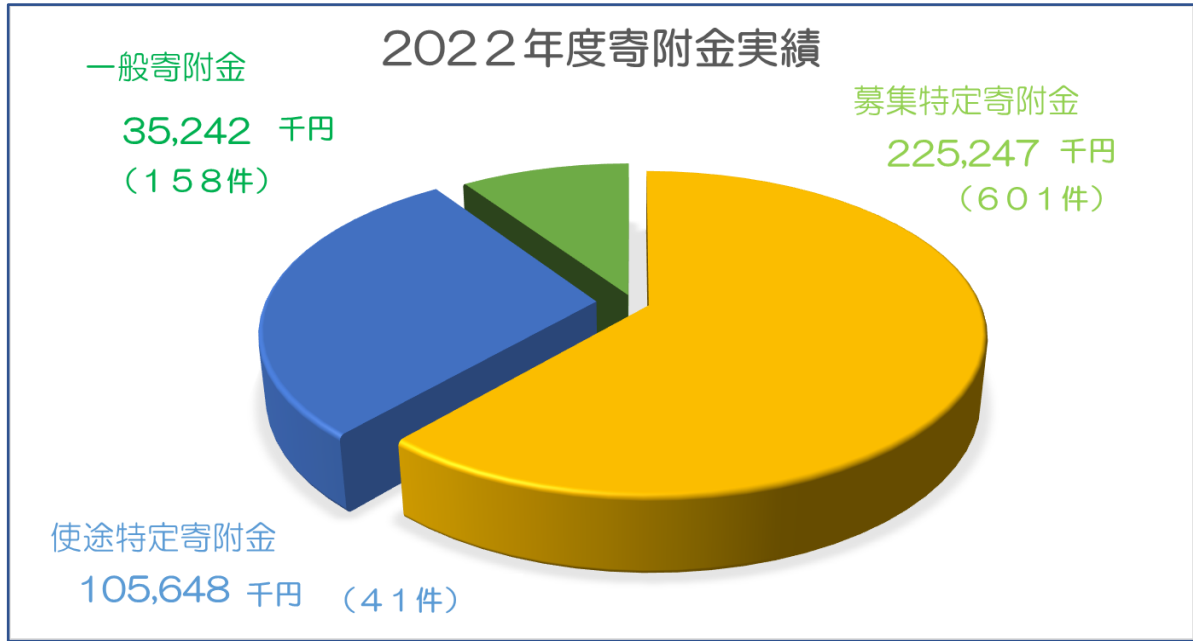


鈴木 梅太郎

理研の三太郎

Ⅱ 寄附金の実績

令和4年度も多くの方々から、総額約3億6千6百万円のご支援をいただきました。
心より御礼申し上げます。ありがとうございました。



(単位：千円)

区 分	2018(H30)		2019(R1)		2020(R2)		2021(R3)		2022(R4)	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
募集特定寄附金	37	7,690	380	24,998	811	54,845	54	13,565	601	225,247
使途特定寄附金	60	83,395	54	46,943	62	77,725	55	54,228	41	105,648
一般寄附金	116	16,832	124	15,589	140	26,847	120	15,634	158	35,242
合 計	213	107,918	558	87,530	1,013	159,417	229	83,428	800	366,138

みなさまからご支援いただいた寄附金は、理研の様々な研究活動等に有効に活用させていただいております。

★募集特定寄附金

- 次世代器官再生医療に向けた基礎・応用化研究支援寄附金
- SDGsへの貢献に向けた環境資源科学研究及び研究者育成支援に関する寄附金
- 若手AI研究者育成支援寄附金
- 仁科芳雄博士記念行事における広報および人材育成事業支援寄附金
- 2023 RIKEN BDR-CuSTOM Joint Organoid Symposium 開催支援寄附金
- 「科学史を未来へ繋ぐ」資料修復・保存プロジェクト（クラウドファンディング）
- 仁科芳雄の研究室を復元～科学する心を次の世代へ～（クラウドファンディング）

★使途特定寄附金

- 放射光科学研究センターにおけるソフトマター構造科学のための先端計測手法及びデータ解析方法の開発に関する研究促進
- 主として脱炭素化社会実現に向けた取り組みやイノベーションに貢献する研究等を支援
- 科学・産業イノベーションの創出活動の推進および、社会課題の解決とSDGsの達成に向けた取り組みへの支援
- 生命医科学研究センター自己免疫疾患研究チームにおけるSLEの研究開発への支援
- 脳神経科学研究センター分子精神病理研究チームにおける統合失調症などの難治性精神疾患の病理の解明の研究支援
- 開拓研究本部渡邊分子生理学研究室における次世代のリキッドバイオプシーへの研究支援
- 生命機能科学研究センター器官誘導研究チームの研究促進
- 脳神経科学研究センター神経動態医科学連携研究チームへの研究支

- 光量子工学研究センターテラヘルツ光源研究チームの南出泰亜チームリーダーによる有機非線形結晶BNAの単結晶育成次世代テラヘルツ波発生基礎に関する研究促進
- 脳神経科学研究センター神経幹細胞研究チーム影山 龍一郎チームリーダーのヒトレトロウィルス研究に関する助成
- 開拓研究本部伊藤ナノ医工学研究室長田義仁客員主管研究員による分子情報生命科学の研究促進
- 生命機能科学研究センター健康・病態科学研究チームにおける、がんなどの生活習慣病や認知症などの精神疾患に関する研究支援
- 環境資源科学研究センター技術基盤部門質量分析・顕微鏡解析ユニット豊岡 公德上級技師による光電子相関顕微鏡法の開発に関する研究支援
- 革新知能統合研究センターがん探索医療研究チーム浜本隆二チームリーダーの医療AIへの研究支援
- 科技ハブ産連本部バトンゾーン研究推進プログラム横山特別研究室への研究支援
- 情報統合本部情報システム部研究基盤課における図書館の図書雑誌購入費
- 生命医科学研究センターヒト疾患モデル研究チームによる「急性骨髄性白血病の個別最適化治療へ一歩」等悪性な白血病の根治に向けた研究支援
- 生命医科学研究センター感染症研究ユニットにおける感染症研究への研究支援
- 脳神経科学研究センター多階層精神疾患研究チームにおける統合失調症を始めとする精神疾患の発症機序の根本的解明に関する研究促進
- 脳神経科学研究センターへの研究支援



★一般寄附金

- 森脇和郎ホール（筑波事業所）の情報発信機能の強化
- 仁科芳雄記念室や仁科博士に係る展示物等広報施設の環境整備
- 研究者のための臨時的に必要な託児料の支援
- レーザーマーカークの導入による研究ワーク支援サービスの拡充
- 「科学道」を用いた広報活動の展開

仁科芳雄の研究室を復元

～科学する心を次の世代へ～



仁科加速器科学研究センター

仁科加速器科学研究センター（仁科センター）は、約80年以上前に仁科芳雄博士が創始した「元素変換」に関連した科学と技術開発を推進し、二つの問い「元素は宇宙でどうつくられたのか?」、「人類は元素を自在に変換できるのか?」に挑戦しています。これらの研究成果を社会に還元して、人類社会の抱える環境・エネルギー・資源の問題を解決することを目指しています。

短寿命の中性子過剰な放射性同位元素（RI）を大量に人工生成し、その性質を研究するための施設「RIビームファクトリー（RIBF）」は世界に冠絶する性能を誇り、RIBFの重イオンビームは、放射性医薬品製造、育種、半導体試験などにも利用され、医療・農業・IT分野でも活用されるなど、数々の研究成果を生み出しています。

また、RIBFの最上流にある線形加速器と分離装置を利用して新元素「二ホニウム」の合成にも成功しています。

この度のクラウドファンディングと募集特定寄附金では、多くの方々にご支援を賜り心より感謝申し上げます。特に仁科先生の故郷である岡山県里庄町の皆様方には多くのご尽力をいただいております、厚く御礼申し上げます。

おかげさまで先生の研究室を復元し、仁科先生の偉大な功績を伝えるとともに、次世代を担う若者の人材育成にも大きく貢献できる施設を整えることができました。

今後も仁科先生の精神を受け継ぎながら研鑽に努め、社会のために役立つ研究成果を創出してまいります。



仁科加速器科学研究センター長
櫻井 博儀

脳神経科学研究センター分子精神病理研究チームにおける統合失調症などの難治性精神疾患の病理の解明の研究支援



脳神経科学研究センター(CBS)
分子精神病理研究チーム

理研脳神経科学研究センター（CBS）は日本の脳科学の中核拠点として、遺伝子から細胞、個体、社会システムを含む多階層にわたる脳と心のはたらきの基礎研究と革新的技術開発を進めています。

統合失調症、気分障害、自閉スペクトラム症等、さまざまな精神疾患がありますが、脳の組織病理を調べる神経病理学的手法では、これらの疾患を定義するような脳の異常を見出すことは現在のところできず、特に統合失調症は「神経病理学者の墓場」とまでいわれてきました。

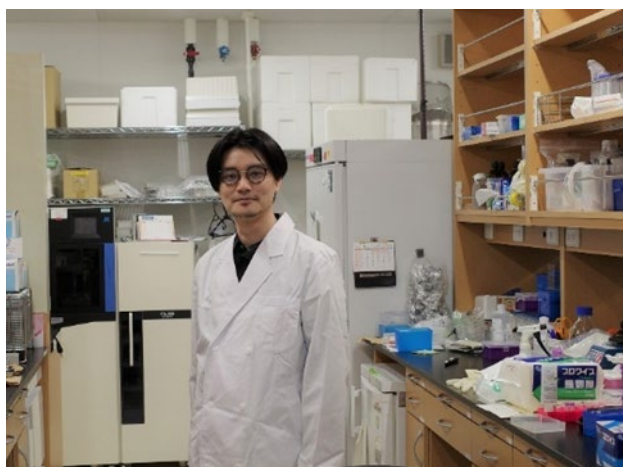
分子精神病理研究チームでは、精神疾患の脳病理を分子レベルで解明し、根本的な治療法や予防法の開発につなげるという大きな目標に挑戦しています。そのために、患者さんからご提供いただいた試料や妥当性が高いと考えられる動物モデルを用いて、疾患に関連する遺伝子や、脳における分子変化などを広範に探索しています。

精神疾患の多様性を鑑みると、その全容を明らかにするためには大規模なデータを集めて解析することが不可欠であり、さらにそこから得られた知見を実験的に検証する必要があります。

今年度も多くの方々からご支援をいただき、心より御礼申し上げます。皆さまからご支援いただいた寄附金は、このような研究を進めるためのデータ産生や解析・実験的検証に活用させていただいております。

患者さんや社会への還元を目指して邁進してまいります。
引き続きのご支援を心よりお願い申し上げます。

チームリーダー
高田 篤



生命医科学研究センター自己免疫疾患研究チームにおけるSLEの研究開発への支援



生命医科学研究センター(IMS)
自己免疫疾患研究チーム
ヒト免疫遺伝研究チーム

生命医科学研究センター(IMS)では、ヒトの疾患の発症機序の解明やそれにもとづく新たな治療法の確立を目指して、ヒトゲノム機能と免疫機能の解明に取り組んでいます。全身性エリテマトーデス(SLE)などの自己免疫疾患は、その病態の成立に複数の遺伝因子が関与していますが、ヒトの免疫システムは複雑で個人の免疫学的機能は解明されていません。

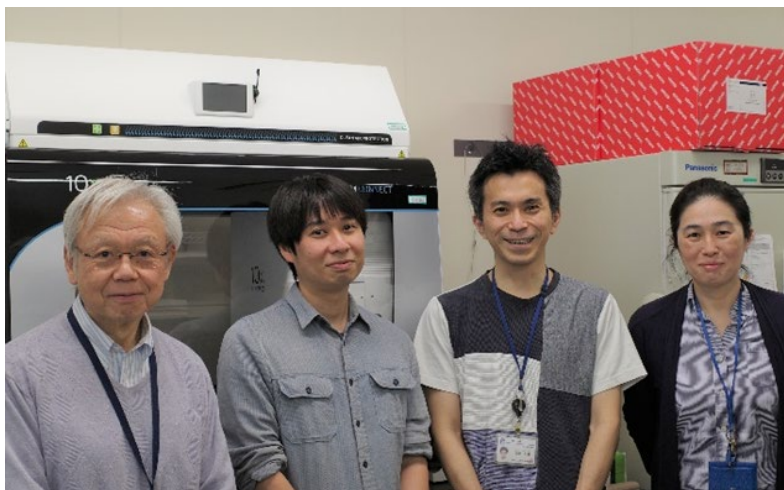
自己免疫疾患研究チーム及びヒト免疫遺伝研究チームでは、ヒト免疫担当細胞の網羅的遺伝子発現解析を行い、ヒト免疫機能の個人差と病態への寄与について共同研究を進めています。特に1つ1つの細胞単位で解析ができる最新の「シングルセル解析」技術を活用して、細胞レベルで免疫疾患の原因を突き止め、ピンポイントで治療する新たな創薬標的の同定や、ヒト免疫機能の個人差の解明を通じた個別化医療の実現を目指しています。

皆様からご支援いただいた寄附金は、主に「シングルセル解析」に使用し、様々な免疫疾患の原因を細胞レベルで解析する研究に役立てております。

患者さんの病態にあわせてピンポイントで治療する個別医療を実現するための研究は、まだまだ長い道のりですが、強い使命感をもって研究に取り組んでおります。皆様のご支援に心より感謝申し上げます。



自己免疫疾患研究チーム
中野正博 特別研究員



生命医科学研究センター長
山本一彦(左)

クラウドファンディング

理研を応援していただける「支援の輪」を広げ、支援者となる「理研ファン」をさらに増やしていくために、READYFOR株式会社と業務提携して、2022年度からクラウドファンディングを開始しました。



2022年度においては、2つのプロジェクトを実施しました。2つのプロジェクトでは、延べ1万人を超えるサイト訪問者と500人を超える支援者の方々から、温かい応援メッセージとともに合計1千7百万円を超えるご支援をいただきました。

「科学史を未来へ繋ぐ」資料修復保存プロジェクト

理研が保有する貴重な歴史的資料を修復・保存して後世に引き継ぎ、新たな価値を創出していくことを目指したプロジェクト。



仁科芳雄の研究室を復元 ～科学する心を次の世代へ～

日本の原子核物理の父・仁科芳雄博士の当時の研究室を復元して、原子物理学の歩みや物理学者の業績について勉強できる場を整備し、将来を担う若い世代の方々の人材育成に資することを目的としたプロジェクト



★復元した仁科芳雄研究室

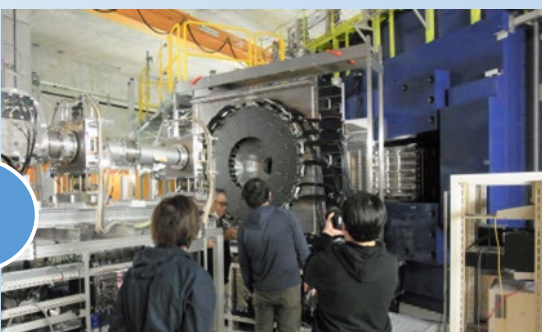
仁科芳雄博士が、実際に使用していた当時の什器（机や椅子、テーブル、書庫など）を配置して当時の研究室を再現しているとともに、歴史的な資料を展示して科学史を勉強できるスペースとなっています。



★加速器見学会（返礼品）

加速器の見学会を返礼品としてお選びいただいた支援者のみなさまをお迎えして、加速器施設の見学会を開催しました。

見学会では、理研の研究者から原子物理研究の話や、様々な実験装置について直接ご説明し、参加者の方々からは熱心なご質問がされるなど、参加者のみなさまに満足していただける充実した見学会を実施することができました。



皆さんが熱心で、予定時間をオーバーしています！



★次世代器官再生医療に向けた基礎・応用化研究支援寄附金

世界初のオリジナルな日本発技術である「毛髪再生」と「歯の再生」の研究成果をもとに、ヒトへの応用を目指しています。（「みんなの再生医療プロジェクト」）

- 主な用途：研究費
- 募集金額：5億円
- 募集期間：2021年2月10日～2024年3月31日

生命機能科学研究センター（BDR）
器官誘導研究チーム



★SDGsへの貢献に向けた環境資源科学研究及び研究者育成支援に関する寄附金

植物科学研究をはじめとした異分野融合研究により、環境問題や食料問題、健康問題など様々な社会的課題の解決を目指す環境資源科学研究センターにおいて、次世代を担う研究人材を育成します。

- 主な用途：研究費、若手研究者の育成支援
- 募集金額 1億円
- 募集期間：2021年1月12日～2025年3月31日

環境資源科学研究センター（CSRS）



★若手AI研究者育成支援寄附金

革新的な人工知能基盤技術を開発し、科学研究の進歩や実社会における課題解決に貢献することを目指す研究センターにおいて、世界的に不足しているAI（人工知能）関連研究者を育成します。

- 主な用途：若手研究者の支援（派遣、留学、学会参加等）
- 募集金額：2億円
- 募集期間：2019年9月1日～2025年3月31日

革新知能統合研究センター（AIP）

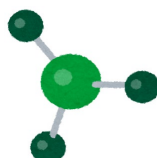


★量子情報科学・量子コンピューテーション開拓支援 寄附金

量子コンピュータ研究センター（RQC）では、量子力学の原理に基づく革新的な情報処理技術としての量子コンピュータの実現を目指しています。優秀な人材を世界中からRQCに集結させ、共に研究していくために、次世代を担う若手研究者を量子情報科学分野に惹きつけ、量子研究を支援する活動をしていきます。

- 主な用途：量子科学研究者の育成、研究環境の整備等
- 募集金額：1億0545万7181円（※ディラック定数より引用）
- 募集期間：2023年7月3日～2028年3月31日

量子コンピュータ研究センター（RQC）



東京スカイツリー展示

理研は東京スカイツリーで研究を実施しています。

○アインシュタインの相対性理論を検証

理研と東京大学、島津製作所が共同で開発した100億年に1秒しかずれない超高性能の光格子時計を使って、東京スカイツリーの地上階と展望回廊（地上450m）とで、時間の進む速さが違うことを測定し、一般相対論的效果を検証しました。

○雷発生の謎に迫る！

雷雲の中には「ガンマ線」を放出する不思議な雷雲「ガンモ」が紛れています。東京スカイツリーにガンマ線を測定する小型の検出器「コガモ」を設置して、ガンモから放出されるガンマ線を測定して、雷の発生の謎を探っています。

東京スカイツリーの展望デッキ（フロア345）では、理研の研究を紹介する展示を行っています。

機会がありましたら是非お立ち寄りいただき、理研の研究に触れてみてください。



VI 寄附の特典

➤ 寄附者の御芳名を公表

ご寄附いただいた個人の氏名又は法人の社名を、寄附者ご芳名一覧として理研ウェブサイトでご公表させていただきます。

➤ RIKENメルマガの配信

プレスリリースやイベント情報、Youtube理研チャンネル最新動画などの新着情報を掲載した「[RIKENメルマガ](#)」をお送りします。

➤ 科学講演会のご案内

理研の最前線で活躍する研究者が講演する「科学講演会」の御案内をお送りします。

➤ 寄附者の会「理研を育む会」へのご入会

寄附いただいた皆さまを「理研を育む会」の会員にお迎えします。

➤ その他

寄附金によって、独自の特典をご用意する場合があります。

※特典はご希望された方を対象としています。

➤ 税法上の優遇措置

理研への寄附金は、確定申告を行うことで、国税（所得税 又は法人税）及び地方税（個人住民税）について、税法上の優遇措置を受けることができます。

★紺綬褒章

一定額以上の寄附者の場合、紺綬褒章の対象となります。



紺綬褒章の授与に際しましては、理化学研究所より特製の顕彰額を進呈させていただきます。

理研を育む会

➤ 2022年度は個人4名、法人8社の方々に記念プレートを贈呈させていただきました。

★ゴールドプレート（栄誉会員）

（個人） 1名様

★シルバープレート（名誉会員）

（法人）

小日向眼科クリニック 様
SMBC日興証券株式会社 様

★ブロンズプレート（功労会員）

（個人）

伊豆山 敏夫 様
他2名様

（法人）

三井住友DSアセットマネジメン
ト株式会社 様
興研株式会社 様
株式会社ダルトン 様
株式会社朝日工業社 様
株式会社アニマルケア 様
フナコシ株式会社 様

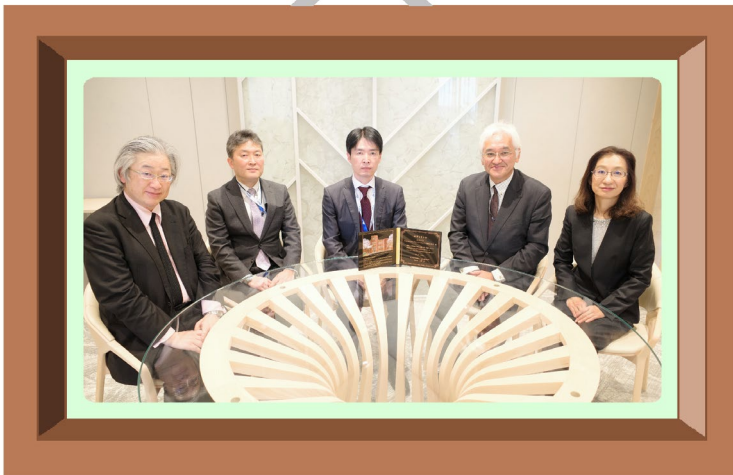


小日向眼科クリニック 様

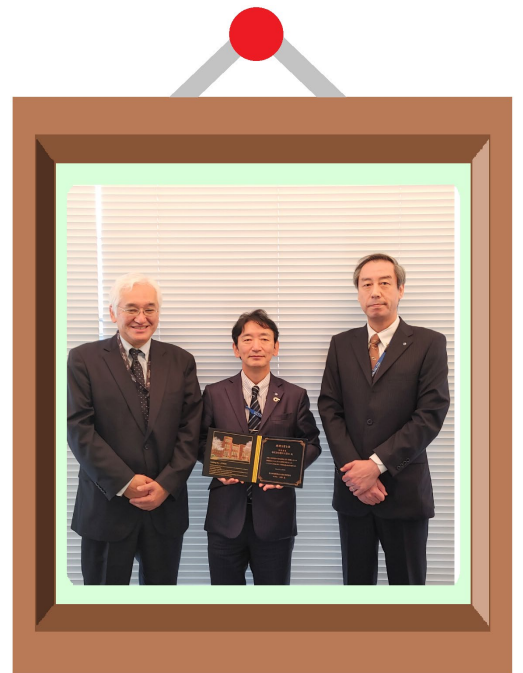
会員称号	累計寄付額	記念プレートの種類
栄誉会員	1億円以上	ゴールド
名誉会員	1千万円以上 1億円未満	シルバー
功労会員	百万円以上 1千万円未満	ブロンズ



SMBC日興証券株式会社 様



三井住友DSアセット
マネジメント株式会社 様



株式会社朝日工業社 様



株式会社ダルトン 様





科学の力で素敵な未来を育てます



【お問い合わせ】

国立研究開発法人理化学研究所 外部資金室
〒351-0198 埼玉県和光市広沢2-1

RIKEN 2023-041



理研サポーター募集中
理研サポーター募集中
理研サポーター募集中
理研サポーター募集中